

第3学年 英語科学習指導案

日 時：平成17年10月5日(火)第6校時

学 級：3年3組 男子19名 女子18名 計37名

1. 主題名

New Horizon English Course 3 Unit 5 「Video Games For or Against 」

2. 主題設定の理由

(1) 生徒観

4月からの授業において、個人で考えたり発表したりすることには積極的に取り組むことができ、予習や復習にも意欲的であるということを感じている。しかし、班などの仲間と共に考えたりそれぞれの意見を発表しあったりなどという場面となると、消極的になってしまい、個人の考えを共有することには難しさを感じている。ペアワークやQ and A、様々な activity では、気の合う仲間や女子同士、男子同士と固まってしまい、思うように学習が進まないことも少なくない。また授業以外でも、周りとうまく関わることのできない生徒もおり、協力して物事を進めたり何かの答えを求めようとする力に乏しいということが明らかになってきた。

そこで、授業の中に意図的にペア学習や班やグループでの活動を取り入れ、1対1の会話だけではなく、複数の生徒同士での会話や activity を行うようにした。初めはなかなかスムーズに進まないこともあったが、回数を重ねていくうちにグループでの練習も可能になり、班での活動にも意欲を持って取り組むことができる生徒も増えてきた。

本単元では、格闘ゲームについての個人の意見を考えさせるだけではなく、グループにおいて、考えをまとめ意見を発表し合ったり、それぞれの意見を全体において発表したりという活動に取り組ませたい。生徒がお互いに関わりあいが持てるような話し合いを仕組み、活動を行うとともに、使用される基本表現の練習を十分に行うことにより、意欲的に取り組むことができると予想される。

(2) 教材観

Unit 5 の Starting Out では、テレビゲームのキャラクター紹介の中で、現在分詞及び過去分詞による後置修飾の用法が扱われている。Dialog では、ゲームを巡る親子の対話に間接疑問文が用いられている。Reading for Communication では、「格闘ゲームは子どもに悪影響を与えるか」というインターネット上での議論を題材に、現在分詞、過去分詞による後置修飾と間接疑問文の復習を行う。Listening Plus 5 では、優先席に関する議論を聞き、賛成・反対とその理由を聞き取る。Writing Plus 3 では、文章の構成を考えて自分の意見を書く練習をする。

それぞれの意見の内容や論点を正確に読みとることや、自分自身の意見、グループでの意見をまとめて書く、また、その理由を文章の構成に気をつけて書くなど、段階をおいながら表現活動に取り組ませ、学習を深めさせたい。

(3) 指導観

本単元の第1時では、現在分詞及び過去分詞による後置修飾を扱う。進行形や受動態の文の構造とは異なるが、その用法の違いに気づかせるためにも、進行形や受動態の復習から取り組ませたい。第2時の関節疑問文においても、1年次で学習した疑問文からの導入を行う。

「格闘ゲーム」は生徒にとって身近な話題であるだけでなく、議論のテーマとしても大変今日的なものである。自分なりの意見を持ち、それを表現する力や表現しようとする態度も養いたい。Listening Plus 5、Writing Plus 3 では自分の意見を文章の構成に気をつけて書くことができるよう指導を行いたい。

3. 主題の目標

- (1) 「格闘ゲーム」について意欲的に自分の意見を考えたり、英語で書こうとする。
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- (2) 現在分詞及び過去分詞による後置修飾の形や間接疑問文の形を用いて、書いたり話したりすることができる。【表現】
- (3) 「格闘ゲーム」について自分自身の意見を書くことができる。【表現】
- (4) 現在分詞及び過去分詞による後置修飾を用いた文や間接疑問文を聞いたり読んだりして、その内容を理解することができる。【理解】
- (5) 「格闘ゲーム」についての各々の意見の内容や論点を正確に読みとることができる。【理解】
- (6) 賛成・反対の議論を読んだり聞いたりして、様々な意見があることを理解できる。
【言語や文化に関する知識・理解】

4. 指導計画

- (1) Unit 5 Starting Out 2時間
- (2) Unit 5 Dialog 2時間
- (3) Unit 5 Reading for Communication 2時間 (本時 2 / 2)
- (4) Listening Plus 5 1時間
- (5) Writing Plus 3 1時間

5. 評価規準 (別紙)

6. 本時について

- (1) 主題 「格闘ゲームについて考え、意見を英語で発表しよう」
- (2) 目標 格闘ゲームについて自分(達)の意見をまとめ、書くことができる。
【書くこと：表現】
自分(達)の意見を発表することができる。【話すこと：表現】

(3) 指導の構想

グループでの話し合い場面とし、自由に「格闘ゲーム」についての自分自身の意見を考えさせ、英語での発表につなげたい。そのために、前時の復習場面では、教科書本文の音読練習やその内容の読みとり、また自分の意見の表し方に注目させながら行いたい。
また、書くことや発表に消極的な生徒・グループには、教科書本文の引用でも可とするなど支援し、発表につなげることで自信を持たせたい。
発表の場面では個人やグループの意見に否定的にならないように注意しながら、自由に積極的で明るい雰囲気の中で行うことができるようにしたい。

(4) 具体的評価規準

	A：十分満足	B：概ね満足	C：努力を要する生徒への手だて
関心 意欲 態度	意欲的に自分の意見を書こうとしたり、わからない表現も尋ねたりなど、なんとか自分で解決しようとする。	書いたり発表練習にも積極的に取り組んでいる。	意見をまとめたり発表練習中にも机間指導や声かけをして励ます。発表に繋げることができるよう支援する。
表現	自分の意見を正しい英語で書いたり発表する。	概ね正しい英語を用いて書いたり発表する。	教科書の文を用いて書かせたり、正しい英語でなくても、大きな声で発表できるよう支援する。
理解	他の発表もしっかり聞き、その内容を正しく聞き取ることができる	他の発表内容を概ね理解できる。	発表内容を大まかに説明したり、各々の発表のキーワードに気づかせる。
知識	間接疑問文など文法事項を理解できる。	基本文の意味を理解できる。	普通の疑問文との違いに気づくことができるように支援する。

7. 本時の展開

段階	学習過程	生徒の活動	教師の活動（指導）	評価・備考
導 入 15 分	1 Warm up	Q and A	英語学習の雰囲気を作る	発言意欲, eye contact 声の大きさ
	2 前時の復習	・単語の発音, 意味を確認する ・本文を読む	・単語を発音させ、意味を理解させる ・本文を読ませ、それぞれの意見の内容を確認する	教科書の各々の意見を正確に読みとることができたか 大きな声で発音, 音読ができたか
	3 学習課題の設定	本時の学習活動の目的を知る	本時の学習活動の内容と目的を確認させる	
「格闘ゲームについて考え、意見を英語で発表しよう」				
展 開 30 分	4 重要表現の確認	意見を述べる時の大切な表現を練習する	教科書の本文より、または使えそうな重要表現を提示し、練習させる	板書 大きな声で練習できているか
	5 意見のまとめ, 表現活動	・グループ(班)になり、格闘ゲームについての意見をまとめる ・グループ(班)での意見を英語で表現する	・グループ(班)ごとに格闘ゲームについての意見をまとめるように指導する ・机間指導をし、意見がまとまらないグループや、英語の表現につまずいているところに援助する	学習プリント 和英辞典 自分達の意見をまとめ、書くことができるか
	6 発表	・スムーズに意見発表(暗記)できるように練習する ・グループ(班)ごとに発表する ・それぞれのグループがどんな意見を持っているのかに注意して聞く ・発表を聞きながら良い点をお互いに評価する	・発表練習をさせる ・挙手により指名する ・発表ごとにそれぞれの意見を確認する	意欲的に発表練習ができているか 自分達の意見を発表することができるか 大きな声でスムーズに発表ができているか
終 結 5分	7 評価	今日の成果を確認する	次時の学習に生かせることを確認する	次時の学習への意欲づけ